令和４年２月２日

令和４年度当初予算説明資料

番号	13
事業名	不登校・いじめ等対策事業費（いきいき学校プロジェクト）
予算額（主な支出）	62,625 千円（うち学校支援課 61,110 千円、教育総務課 3,700 千円）
特定財源	
事業の概要	不登校対策について、児童生徒一人ひとりの実態を的確に把握するとともに、個々の実態に応じた適切な支援や取組の充実等、を迅速かつ重点的に推進していく。そこで、「不登校の未然防止」「居場所づくり・教室復帰支援」「ICT を活用した支援」の３つを柱とした「いきいき学校プロジェクト」（不登校児童生徒支援計画）の取組を推進していく。
事業の背景など	長期化するコロナ禍において、不登校児童生徒数や相談件数はコロナ禍以前よりも明らかに増加しており、直近の冬休みの期間においても、児童生徒や保護者から多くの相談が寄せられた。また、感染不安で登校できなかったり、教室に入れず別室登校をしたりする児童生徒も増加する中、教職員や相談員等、各校の実態に合わせた対応をしている。 現在、コロナの第 6 波が押し寄せ、感染が拡大しており、児童生徒の不安定な心身の状態が今後も続いていくことが懸念される。そのため、児童生徒一人ひとりにしっかりと寄り添い、相談体制や学力保障の取組をより充実したものにする不登校対策を推進していく必要がある。
目的・効果など	・大学教授等の学識経験者を招聘し、市内全小中学校において研修会を実施し、教職員の指導力向上を図ることや、学級経営スーパーバイザーによる Q-U（学級満足度尺度調査）を効果的に活用した学級経営への支援を行うことで、新たな不登校児童生徒を生み出さない居心地のよい学級づくりが進められる。 ・既に配置している不登校児童生徒支援員（NASS）やハートケア相談員に加え、不登校児童生徒復帰支援員（コネクトサポーター）を配置し、中学校区にふれあい教室（別室登校支援教室）を開設することで、相談体制や学習支援等の充実を図り、児童生徒の教室復帰や社会的自立に向けた支援や取組を推進することができる。 ・ICT を効果的に活用した取組を進めることで、学力保障や興味関心に応じた個別最適な学びを進めていくことができる。
事業スケジュール	R4.4~　学識経験者を招聘しての教職員を対象とした研修会の実施 R4.4~　不登校児童生徒復帰支援員の配置
添付資料	あり
備考	なし
担当課	教育委員会事務局　学校支援課　生徒指導係　電話 53-4403